

技術士 1 次試験に合格して



坪江 桂吾

(つぼえ けいご)

勤務先

HRS 株式会社

技術本部

〒047-0005 小樽市勝納町 8 番 39 号

TEL 0134-22-7710 FAX 0134-22-7696

E-mail k.tsuboe@h-r-s.co.jp

■ 専門：資源工学部門

自己紹介

私は地元群馬を出て、秋田大学大学院で地球と語り合っていたはずが、気づけば小樽で HRS 株式会社の一員として道路構造物と対話する日々を送っております。学生時代の専門知識は、現在の業務では時折「あの知識、どこかで使えないか？」と脳内検索する程度ですが、培ってきた科学的な視点を武器に、真摯に業務に取り組んでおります。

受験のきっかけ

入社後、上司との面談で会社が技術士資格取得を推奨していると知りました。「技術者たるもの持っていて損はない(というか、むしろ必須?)」という雰囲気を感じ取り、将来への投資と自分に言い聞かせ、まずは一次試験の受験を決意した次第です。

学習方法

二回目の挑戦となる今回は、一度目の玉砕(反省点)を踏まえ、学習戦略を練り直しました。

時間の創出：前回、週末の気まぐれ学習では知識が右から左へ抜けていったため、今回は「早起きは三文の徳」を信じ、平日の始業前に会社で 1 時間の「朝活」を導入。静寂の中で己と向き合いました。

聖域の確保：自宅に誘惑が多い私を見かねた上司が、第 2・第 4 土曜日に「勉強会」という名の聖域(会社)を提供してくださいました。まさに地獄に仏、いや、自習室に神降臨。集中できる環境は本当にありがたかったです。直前期はこの聖域以外にも週末に時間を捻出し、試験に臨みました。

専門分野の攻略：資源工学分野は参考書が少なく、ほぼ「過去問道場」状態。不明点は、埃をかぶっていた大学時代の教科書を発掘して解説。幸い学生時代の「広く浅く」な学習経験がここで役立ち、記憶の断

片を繋ぎ合わせながら比較的スムーズに進められました。

モチベーション維持：前回の反省点「中だるみ」対策として、今回は一次試験前に「甲種火薬取扱保安責任者」という名の「中間ボス」を設定。これが良いペースメーカーとなり、集中力を維持した結果、幸運にも両方の試験に合格するという「コンボボーナス」を得ることができました。

受験体験

噂の「傾向変化」にも、「ふっ、想定内さ(内心ドキドキ)」と平静を装い対応。前回より学習時間を確保していた貯金のおかげか、落ち着いて問題に取り組みました。前回の私は、準備不足で試験中に自爆スイッチを押してしまったような状態でしたから、大きな進歩です。やはり RPG のレベル上げと同じで、地道な経験値(学習)の積み重ねが、ボス戦(試験本番)での安定感につながると痛感しました。

今後に向けて

理系大学院卒の特典で、二年後には二次試験という「ラスボス」への挑戦権が得られます。早期挑戦は嬉しい反面、レベル(実務経験)不足は否めません。二次試験までに地道な経験値稼ぎ(業務経験と学習)に励み、レベルアップに努めます。

終わりに

本稿の執筆にあたり、「昨年の合格者はもっとユーモアがあったぞ」という上司からのご指摘を受け、執筆した文章を基に、AI に表現の再構成をお願いしました。結果、少々おかしなテンションの部分もあるかもしれませんが、これも合格者のリアルな声として、ご笑覧いただけますと幸いです。